

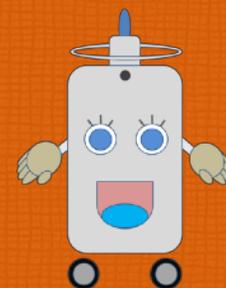
液体窒素自動供給装置 (Demas)

マニュアル ver.1

2017.4.5 作成



ご安全に！



①

容器を重量計に置きます。



寒剤発注システムで
発注済みの場合のみ充填可能です。

②

ログイン画面になっていることを確認します。



スクリーンセーバーになっている場合は、一度画面をタッチしてください。

③

バーコードリーダーで容器のバーコードを読み取ります。



!

発注履歴が複数ある
場合、選択画面に移
行します。
該当する注文を選択
してください。

液化窒素自動充填システム DeMaS 13:11:46

ロードセル重量 0.0 kg

利用者氏名:
利用所属:

発注選択
この容器には複数の発注が存在します。該当する発注を選択してください。

発注番号: LIQ00016243	発注番号: LIQ00016247
容器ID: 0032	容器ID: 0032
利用者名: test上田	利用者名: test上田
研究室名: 低温センター	研究室名: 低温センター

戻る

④

「重量測定スイッチ
●」を押し、容器の
重量を測定します。

液化窒素自動充填システム DeMaS 11:46:16

ロードセル重量 3.7 kg

利用者氏名: test上田
利用所属: 低温センター

重量設定

充填ノズルが外れていることを確認し、「重量測定SW」(黒)を押しください。

使用容器重量: 3.7 kg
測定重量: 0.0 kg
容器残量: 0.0 L

AIR LIQUIDE JAPAN

ログアウト 機器状態



⑤

充填ノズルを差し込
み、「確認」ボタン
を押しします。



液化窒素自動充填システム DeMaS 11:48:29

ロードセル重量 3.7 kg

利用者氏名: test上田
利用所属: 低温センター

重量設定

充填ノズルを取り付け「確認」を押しください。

使用容器重量: 3.7 kg
測定重量: 3.7 kg
容器残量: -0.0 L

AIR LIQUIDE JAPAN

ログアウト **確認**

⑥

「満充填」ボタン
もしくは、
「数値設定」ボタン
を押し、希望充填量
を設定します。



最大充填量は、容器容量の90%です。

⑦

「充填開始スイッチ
●」を押すと、充填
を開始します。



⑧

配管の冷却が完了す
るまで、放出弁から
窒素ガスを放出しま
す。



後ろの配管からガスが放出されます。
配管が冷却されるまで、お待ちください。

⑨

配管の冷却が完了すると、自動で充填に切り替わり、容器への充填が始まります。



充填が完了するまで、お待ちください。

!

充填量は重量計により測定しています。
充填中に重量計を踏んだり、物を置いたりしないでください。

設定値以上の重さを感知しますと、充填が終了しますが、充填量は手順⑩で決まりますので、充填量増加にはなりません。

⑩

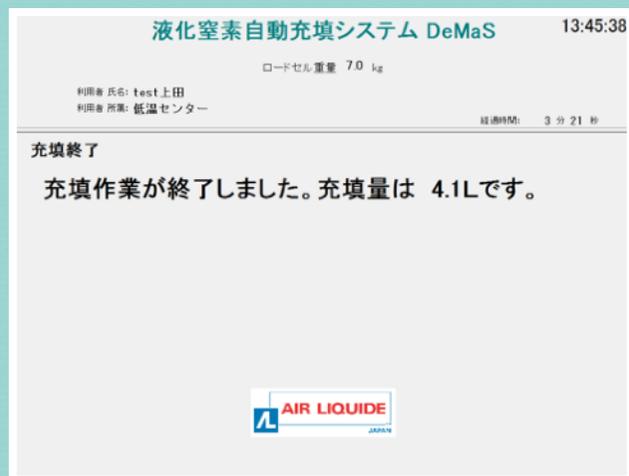
充填が完了すると、ブザーが鳴りますので、「ブザー停止」ボタンを押します。



充填が完了しても、容器は動かさない！！

⑪

充填ノズルを容器から取り外し、「重量測定スイッチ●」を押します。



「重量測定スイッチ●」を押下した時の重量で最終充填量が確定します。この充填量が、寒剤発注システムに自動入力されます。

⑫

充填は終了です。

充填後30分以内であれば、再充填可能です。

再充填する場合、手順①から始めてください。

ご不明な点・異常等
ありましたら、
すぐに職員にお知らせください。

